

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来場者の動きは個人、団体ともに好調である。
		一般小売店〔精肉〕(店長)	来客数の動き	・ギフト用の肉は伸び悩んだが、日用の肉はよく売れている。
		百貨店(営業担当)	単価の動き	・今月の買上客数は前年同月比85%で低迷しているが、売上は同92%となった。3か月前の同80%台からみれば、かなり回復した。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・冬のファッションのコート、ブーツは前年割れという厳しい状態が続いている。しかし、食品ではお節料理やクリスマスケーキなどでグレードの高いものが前年の倍以上も売れている。消費全体では厳しいながらも、若干光明が差ししてきたように見える。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・1人当たりの買上点数は3か月前の8.5から9.0へ増加している。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・今月はクリスマスや歳暮の影響も加わり、売上は前年同月比で1～2割増加した。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・今月は暖冬の影響で季節商品の売上が非常に悪いが、これに代わる商品としてテレビ、冷蔵庫、パソコンなどが売れている。
		その他専門店〔医薬品〕(営業担当)	来客数の動き	・既存店舗の売上は1%増にとどまっているが、来客数は前年比で6%伸びている。1人当たり買上点数では5.4から5.0に落ちているものの、客は必要な物はしっかりと買っている。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・レストランの通常営業の利用客は5か月ぶりに前年並みに回復した。一般宴会も利用人員が増加し、前年の売上を上回った。3か月前に比べても一般宴会は増収の見込みである。
	タクシー運転手	来客数の動き	・前年に比べてボーナスが多く支給されたせいか、忘年会は前年より多く開催され、活気があった。しかし、競争相手のタクシー台数も多く、人出が多かった割には売上はそれほど伸びなかった。	
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・受注量は前年同月比で約20%増加している。特に分譲物件の動きがかなり良い。	
	変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・今年のクリスマスセールは曜日の配列が良かったため、街は26日の日曜日まで大変な人通りでにぎわった。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・来街者数は横ばいで推移している。
		一般小売店〔鮮魚〕(従業員)	単価の動き	・季節的要因から年末に値上がりすべき商品の単価が変わらないため、売上は前年に比べて低下傾向にある。
		百貨店(売場主任)	販売量の動き	・今月売れるはずのカシミアコートが前年の40%にとどまっている。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・以前と異なり、もちを大量に消費する客が少ないなど、正月の食生活に変化がみられる。
		スーパー(副店長)	単価の動き	・暖冬の影響をもるに受けて、来店客は商品を手にとっても買上につながらない現象が続いている。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・来客数は伸びているが、客単価が前年と全く変わらない。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・今月も引き続き天候が暖かいため低調であったが、クリスマス商戦は何とか例年の来客数を確保できた。
家電量販店(経営者)		お客様の様子	・従来と同様のちらしやDM、テレビコマーシャルなどでは客の来店に結び付かないが、新しい企画のちらしや販促策を打ち出すと反応が大きく、売上につながる。	
乗用車販売店(経営者)		お客様の様子	・新規顧客が減少している上に代替車の動きも低調で、浮上の気運がみられない。	
乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・最近発売された主力車種の後継車は評判が良く、受注量が堅実に増加しているが、逆にこれと同じような車種が減っているため、総量的にはあまり変わらない。		
乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・引き続き中古車の受注件数が減少している。		

	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・降雪によるスタッドレスタイヤへの交換では、新しいタイヤの購入はなく、古いタイヤをそのまま使う客が多かった。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	単価の動き	・原油高の影響もあり、ガソリンの民需は天井をつけたようにみえる。また、産業用石油は中国効果で少しは伸びたが、取引先の工場での使用量は以前の水準に遠く及ばず、価格は大変厳しい。
	その他専門店 [酒]（経営者）	お客様の様子	・年末商戦は仕入量を少し抑えたこともあり、完売できた。前年に比べてますますの状態であった。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・昼の来客数は例年並みであったが、夜の集客が例年に比べて5%程度伸びた。忘年会は法人の利用が多く、またクリスマスは曜日の並びが良かったため、個人客が多かった。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数の純増数が増加している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・12月は例年に比べて比較的穏やかな天候であったため、来客数は前年並みに推移した。ただし、前年は年末を休業としたが、今年は休まずに営業した。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の反応は若干あるが、販売にはつながらない。
やや悪くなっている	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価の下げ止まりがみられない。ここへ来て、一品単価も1人当たり買上点数もダウンしている。灯油の値上げやマスコミ報道の暗いニュースが大きな要因である。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年近隣にオープンした競合店の影響により来客数が前年同月比で大幅に減少している。近隣の別の競合店が最近閉店するなど、状況は悪化している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・常連客の所属する業務多忙な会社の貸切りが数回あったため、売上は例年の1割増となった。しかし、いつもこの時期に顔を出す客の姿がみられず、また個人商店の悪い状態も耳にしており、ますます格差の広がりが感じられる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会シーズンであるが、人が休日の前日に多少動いているだけで、例年のような忙しさはない。
	設計事務所（職員）	単価の動き	・受注物件数の低迷が続いている。また、単価の引下げ要請が強いため受注が難航している。
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・当社の通常の見積に対して、他社ではかなり無理をした低価格を出してきたため契約が奪われた。
悪くなっている	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が前年同月を大きく下回った。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・12月1日から製品価格の値上げを行ったが、交渉はかなり難航している。
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・受注量や販売量の動き、受注価格や販売価格の動きは結構強含みで推移しているが、一方で引き合い先が若干減少している。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先企業の冬のボーナス支給状況は前年並みの先が多かったが、前年を上回る先も若干見受けられた。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客はとにかく安い物件を探している。
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・当社を含めて産地全体の受注状況が厳しい。暖冬の影響も大きい。
	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・輸出も含めた婦人衣料が特に悪くなっている。
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・8月あたりから在庫調整が始まり、現在まで数量的に回復せず、むしろ減少傾向にある。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店の在庫調整の影響による受注減が前月から続いている。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・当社で未収入金となっている先では相変わらず何回も支払を引き延ばしたり、また行方が分からない状況にあり、不良債権が増加傾向にある。

		司法書士	取引先の様子	・例年12月は不動産取引が非常に多くなるが、今年は皆無の状況であった。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数は25か月連続で前年比減少、有効求人数が27か月連続で同増加している。また、雇用保険の被保険者数が2年前に比べて3%近く増加している。 ・仕事に就いた人が増加したためか、求職者が減少したように見える。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・スポットの求人は増加傾向にあるものの、全般的に求人数は横ばいで、企業に人件費の節約感がうかがえる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月の求人広告は前年同月比で約1割増加しているが、内容的にはパートや季節労働者の募集が多い。 ・求人が増えている割には就職内定状況は前年とあまり変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人広告受注件数が約10%減少している。
悪くなっている	-	-	-	